

第10回コンクール大賞審査委員特別賞の選考について

「わが村は美しく一北海道」運動が目指す姿とは、幾世代にも渡り営まれてきた農林水産業の健全な生産活動によってもたらされる「景観」、「地域特産物」、「人の交流」という3つの要素が、相互に関連し合いながら全体として調和を保ち、総合的に地域住民の生活に溶け込んで形成される「豊かさ」が醸し出す「美しい農山漁村」である。

この観点から第10回コンクール大賞審査において、優秀賞13団体の中から先導性、モデル性の高い活動内容を含む2団体を大賞として選考したところである。

近年、北海道の農山漁村においては過疎化や少子化・高齢化が進んでおり、地域が理想としている活動の継続が危惧されている。このような状況から、全道各地の地域資源の魅力に気づき活動している諸団体の参考となり、また、今後とも継続した活動が期待される3団体について、第10回コンクール大賞審査委員会は、「第10回コンクール大賞審査委員特別賞」として表彰し、下記のように選考するものとした。

大賞審査委員特別賞 団体名:えづらファーム(遠軽町)

都市と農業の交流モデルとして、「農村、農業の魅力」を発信

～選考ポイント～

- 遠軽町白滝での農業者。
- 都市と農村の交流モデルとして「農業・農村の魅力」を上手に発信。
- 畑作農業を中心に、農家民宿の経営や、農場でのアクティビティなどを通じて、地域内外の交流人口の増加に貢献。
- 今後、更に地域全体が栄えるビジネスモデルの構築に期待。

大賞審査委員特別賞 団体名:農猿(南幌町)

農業体験型イベントで地域と農業の魅力を発信

～選考ポイント～

- 南幌町の若手農業者を中心に結成。

- 現在では地域の若者達が職種の垣根を越えて、南幌町の魅力を次世代に伝え、継承していく活動を実施。
- 子どもたちに「農業のかっこよさ」を伝えたいという気持ちが活動の随所に感じられる。
- 農業体験型イベントの「野祭（やさい）」や食育活動の「軽トラ畑」など、個性的なネーミングと工夫を凝らした活動は、今後の活動にも期待が持てる。

大賞審査委員特別賞 団体名：ベジタブルワークス株式会社(真狩村)

真狩村の風土を生かした野菜を、全国へ届けたい

～選考ポイント～

- 農業を収益性のある魅力的な職業にすることを目的に設立。
- 真狩の風土を生かした北海道らしい農作物を栽培。
- 農業者の腰への負担を軽減した農業機械の開発、農作物の流通・販売に至る効率的に活動など、自分達で取り組む臨機応変な対応が評価。
- 現在、農家戸数の減少に伴う大規模経営化が進む中で、地域の営農の担い手として期待。
- 地域農業の将来性・継続性の面からも期待が持てる。